

第17回 就職交流会 実績およびアンケート結果

■実施日：2014年1月9日（木） 14時～17時20分
■参加数：30大学（40名）・企業29社（39名）

参加内訳（大学）

国公立 （24）	茨城大理、大阪市立大理、お茶の水女子大理、九州大理、京都工芸繊維大工芸科学、群馬大工、神戸大理、埼玉大理、埼玉大工、首都大学東京都市環境、千葉大工、東京医科歯科大、東京医科歯科大生体材料、東京大理、東京農工大工（有機材料）、東京農工大工（応用分子）、東京農工大農、東北大理、東北大工、名古屋工業大工、広島大工、北海道大理、山口大理、横浜国立大理工
私立 （14）	神奈川大理、関西大化学生命工、近畿大理工、慶應大理工（化学）慶應大理工（応用化学）、慶應大薬、創価大工、東京農業大農、東京理科大理、東邦大理、日大生産工、日本女子理、早稲田大先進理工（生命医）、早稲田大先進理工（応用化学）

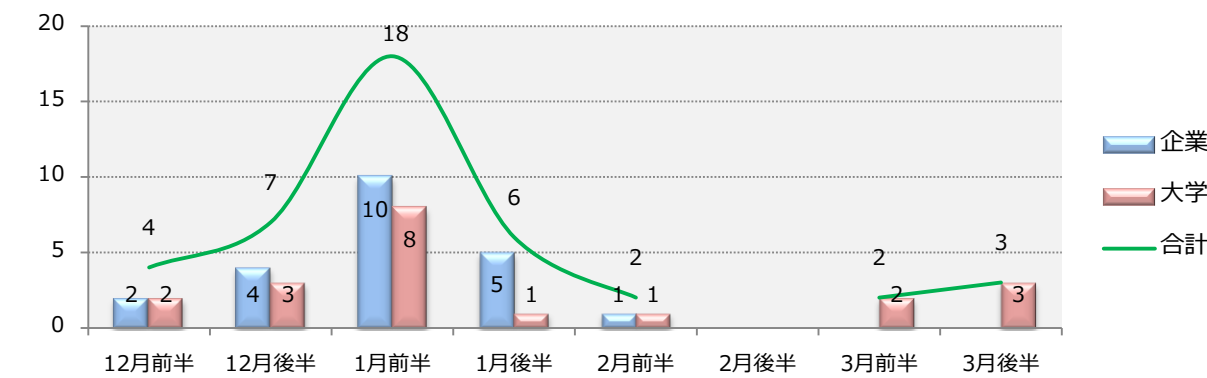
参加内訳（企業）※・・・複数名参加

旭化成（株）、（株）ADEKA、イハラケミカル工業（株）、宇部興産（株）、花王（株）、（株）きもと ※、（株）キャタラー ※、京セラケミカル（株）、KHネオケム（株） ※、（株）クラレ、JFEケミカル（株）、昭和電工（株）、新日鉄住金化学（株）、住友精化（株）、東洋アルミニウム（株） ※、東洋エンジニアリング（株）、東洋合成工業（株）、ナガセケムテックス（株）、（株）ニコン ※、日産化学工業（株） ※、日本化薬（株） ※、日本ケミコン（株）、BASFジャパン（株）、日立化成（株） ※、富士フイルム（株）、（株）プリチストン、松本油脂製薬（株）、有機合成薬品工業（株） ※、和光純薬工業（株）
--

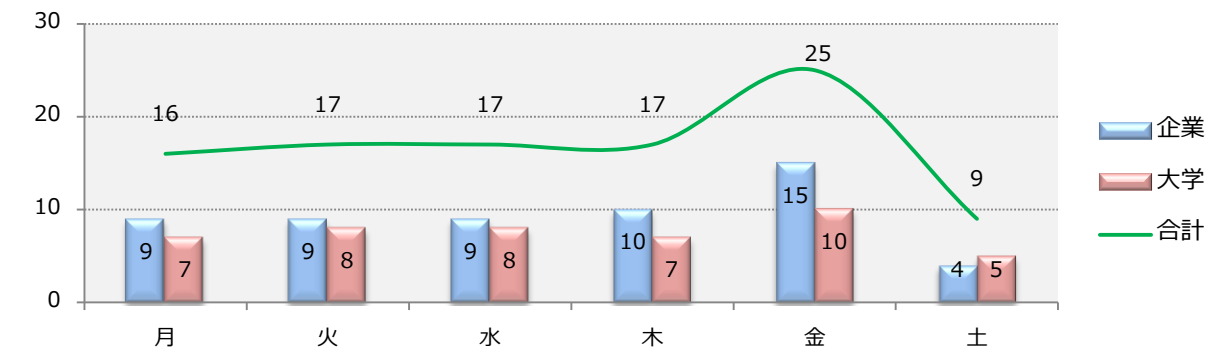
■アンケート結果

実施方法：参加者にアンケートをメールにて送付。回答をメールにて返信いただく。
回答数／配布数：大学 20／39、企業 17／37

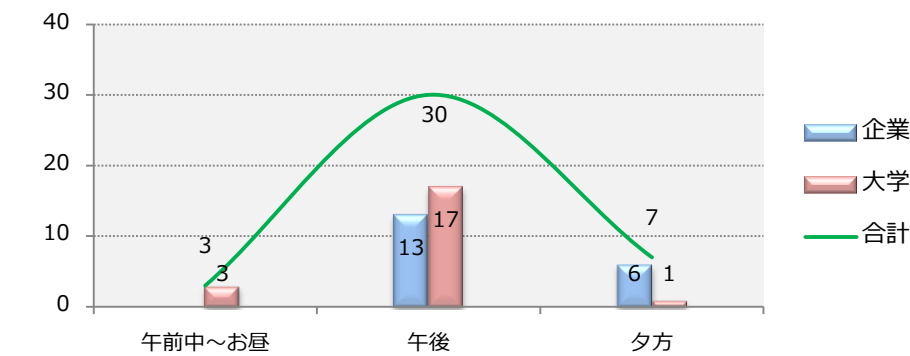
■時期はいつ頃がよろしいですか。



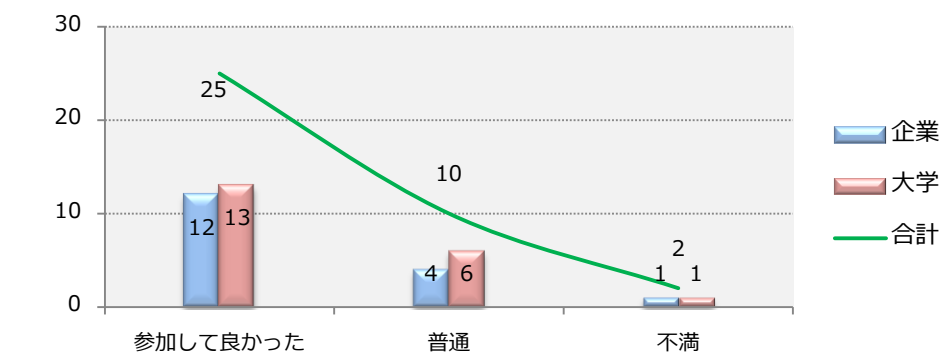
■曜日はいつ頃がよろしいですか。



■どの時間帯がよろしいですか。



■就職交流会の満足度について



第17回 就職交流会 実績およびアンケート結果

■ 就職交流会の満足度について（コメント）

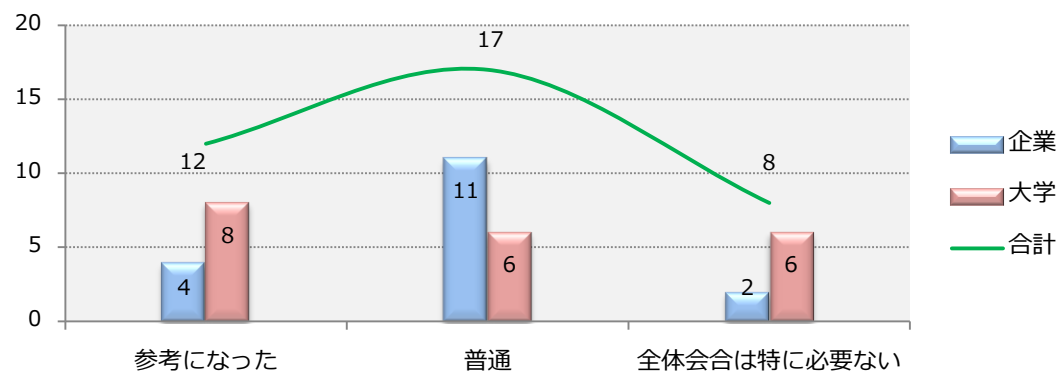
企業側

内容が前回までと異なることへのアナウンスが分かりずらかった。名刺が不足した。話す時間が短い。食事の内容が大幅ダウンした。懇親会の参加者が少なすぎる
たくさんの就職担当教員の方と意見交換することができ有意義でした。
参加された大学のほぼ全ての先生方と交流できました。
各大学のＨＰを見ても就職担当の先生の告知が時期的に遅い。今回参加することでそれを知ることができる。そのために、12月に開催されるとありがたい。来年以降は、経団連の採用指針の関係で、時期は不確定になることを懸念している。
普段交流できない教授との意見交換ができた。
各大学の化学系の就職担当の先生と名刺交換が出来たこと。このあとどう活用するかは企業サイドの問題。
普段から就職担当の先生と接点を持つ場がないので、良い機会になりました。
短時間で多くの大学の就職担当の先生とコンタクトできた点は良かったが、あまりに慌ただしかった。
1回の面談時間が短く、全員の先生と名刺交換が出来なかった。また、隣の企業との距離も近く先生との会話のやりとりがし難い場面が多々あった。
有力大学の教授とのパイプ作りができる。化学系に特化できる。一同にかいするので効率的である。
開催時期について、来年から選考スケジュールが変わるとはいえ、早めに就職担当の先生とはご挨拶したいので、本年と同時期の開催だとうれしいです。
多くの先生と交流がもてた。
各大学の教授と情報交換ができ、非常に有意義だった。
マンパワーの関係上、学校訪問がほとんどできていないため、一度に多くの就職担当教授と情報交換ができることは効率が良い。

大学側

交流会自体は是だと思いますが、実際行われる作業が数分の挨拶と名刺交換だけでは物足りなく感じます。事前に資料をご用意頂いていない企業や大学ばかりでは徒労に終わることを危惧します。あらかじめ用意すべき資料を案としてご呈示いただければよいのではないのでしょうか。実際用意するかどうかは別として参考のために示してもよいかと思います。私は１．本年度の進路決定状況一覧、２．化学科での就職支援の取り組みの案内パンフレット、３．化学科年次報告、４．理学部ニュースレター、５．化学科案内パンフレット、６．理学部案内パンフレット、７．高校生向けのイベントのチラシ２枚、８．イベントの寄付のお願いをご用意いたしました。
複数の会社の人事担当者から、いろいろ話が聞けたのは良かったと思います。特に、中小の化学メーカーの方とお話しできたのは収穫でした。ただ、その後の交流会にも参加したのですが、そこでも企業の方と話ができると期待していたのですが、あまりできなかったのは残念でした。
大学として初めての参加でしたが思わぬ企業から化学系学生の求人希望があることを知りえたことで学生に幅広い範囲で企業選択が可能だと伝えることの裏付けがとれた。
開催時期については、来年度から就活時期が異なるため、いつがいいかわかりません。
多くの企業の人事担当者の方と一度に情報交換できた。また、他大学の就職担当教員とも情報交換できた。
従来よりお付き合いのある企業様はここでの面談は必要なく、一方で、普段お付き合いのない企業様は採用に対する熱意が感じられませんでした。
一社平均3分の会話時間だったが、仮に来校して面談したとすると一社15～30分になったと思われる。情報交換の内容は単純なのでお互いに時間の節約（30分→3分）になった利点はある。一方で、採用側の本音（たとえば推薦応募者・一般応募者にそれぞれどのような資質を期待するか？理学系化学出身者にどのような資質を期待するか？）を尋ねる時間はなかった。
コンセプトが不明
話をしたい企業と十分に話をする時間が取れなかった。
会場で多くの企業の担当の方々と交流を持つ大変に良い機会であったこと、さらに学生の就活に関して有用な情報を聞かせていただき、学生に発信できる希望多き情報に接することができたことに感謝しております。
大学で開催する企業説明会に来られない企業の話が聞けたので良かったです。
企業の人事の方と意見交換ができたことは良かったが、もう少し中堅の企業も参加してほしい。新規企業の開拓を含めた交流会として実施することを望む、または別の機会に同様な行事を企画することでも良い。
昨近の企業の説明会への取り組みの動向を知ることができた。個別面談で気になっていることを直接聞くことができたので、企業がどのような学生を必要としていることがよく分かった。
多くの会社と触れ合うことができた
いろいろな企業の担当者とかう機会があった。就職活動の助けになるような有益な情報を得た。
交流会のうち名刺交換部分が効率悪い(交換できなかった会社も1/4あった。)名刺交換終了後の交流はかなり限定的であった～帰り支度でザワザワしている状況で意見交換どころではなかった。

■ 第1部（7Fホールでの全体会合）について



第17回 就職交流会 実績およびアンケート結果

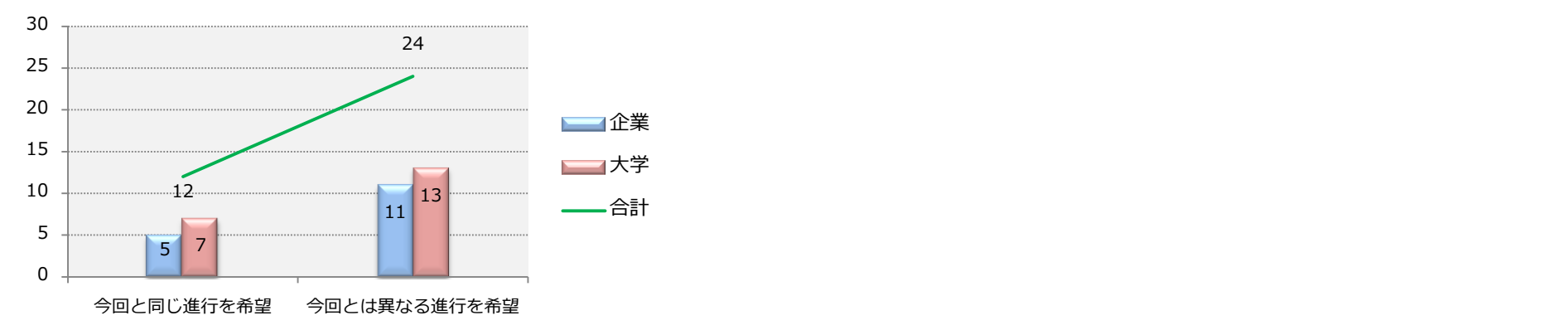
企業側

時間も短いので、それなりの情報
参考にはなりましたが、もっと具体的な事項についてレクチャーしていただける内容だとより良いと思います。 ・学校側からも企業側からも理想的な就職活動の在り方 ・制度変更により就職活動がどのように変わっていくことが予想されるか 等々
一般的な話で、表面的な話が多かったと思う。説明いただくならば、もう少し踏み込んだ内容にしてほしい。
短時間であったが、大学側の意見を聞くことができた。
50分という時間はそれなりに、という感じでした。
一般的な情報を共有するにはよかった。
日本化学会様の就職イベント等のお話が伺えた為。
名刺交換会の時間を多くとって頂きたい。

大学側

ご講演内容に特に気になる物はありませんでしたが、よい機会だと思います。是非続けて頂きたいと思います。
JA B E Eを宣伝したいとの意向はわかるが、就職交流会なので、JA B E Eを宣伝は必要ないように感じる。森様の講演、非常に興味深い講演であったにもかかわらず、講演時間が短く中途半端な感じを受けた。講演を設けるのであればもう少し時間を延ばしてもよいように感じる。
初めての参加でしたので、新鮮でした。毎年参加されている方がどう思うかだと思います。
企業との交流時間が減るから、Jabeeなど企業へのアピールを考えると必要かもしれないが、企業人事関係者との交流がより重要である。
企業が求める人材，グローバル化の現状などを聞くことができ非常にためになった。また，日本化学会における就職関連イベントの内容を聞くことができよかった。とくに女子学生に対して力を入れているとのこととはよかった，ぜひとも，関西でも開催してほしい。
森ゼミの話が大変参考になった。また，日本化学会の就職に対する取り組みも参考になった。学生に周知したい。
有意義なお話しではありましたが、若干、今回の交流会の視点とはずれていたと思います。
JABEEについての説明は必要なかった
JABEEは全く不要，この時間の分だけ遅刻してくるべきだったと反省している。森さんの話はもっと長く聴きたかった
就活についての最新の状況を解説いただいたので参考になった。お話の内容を学生指導に反映させたいと感じました。
今回の形式では，（会社）4～5対（大学）4～5人の交流を10分で行うのは無理があります。後半の方にもう少し時間を割きたい。
何人かの講演を聴き内容として参考になる点があったが，時間が限られていることから内容が断片的であり物足りなさを感じた。逆に色々なことを話しているので内容として集約されている分希薄で，より多くの内容(情報)を聞きたかった。
昨近の企業の説明会への取り組みの動向を知ることができた。
企業の担当者へ事前にアンケートをして、その結果を大学担当者の前で聞かせてほしかった。どのような基準で採用しているか、どのような学生がほしいかなど。
その時間を名刺交換会に回してほしい
大学や企業ごとに事情は様々であり、全ての人に共通にためになる話はない。今回のように名刺交換会の時間がタイトになるなら、全体会を短くして名刺交換会の時間を長く取って欲しい。

■第2部（名刺交換会）について



▼「異なる進捗を希望」と答えた方へお願いします。ご希望をお教えてください。（企業側）

教授側を移動させるのは恐縮。全員との名刺交換は必要ない
昨年方式よりは良くなったと思います。（面談の時間制限がない。一部の大学に集中。待ち時間が長い。等）今回はあまりにもせわしく、混乱もしていたと思います。今回の方式を続けるなら、面談の時間をもっと細かく区切り、一斉に動くような形にすべきかと思います。また、時間をもう少し長く取っていただくことを望みます。
今回の様なグループ単位での移動・進行を継続されるのであれば、椅子は不要かと思われます。（椅子があるとどうしても会話する相手が固定化されてしまうため）
今回のやり方でおおむね良いと思った。しかし、企業数社と指導教官数社のグループになった後の流れがブース任せ。これはこまった。数分間隔で、企業が動き全員の先生と名刺交換するように運営してほしい。
①動くのは大学の先生ではなく、企業側のほうがいい。②時間性は非常に良い考えだが、時間が10分は短すぎる。15分×8組＝2時間でも当方は良い。 ③テーブルを交代した後は、まず名刺交換から始めるほうがよい（最後に名刺交換だけ、という先生もおられたため）
担当教授が移動するのではなく、企業側が動くほうが良いと思われます。また、情報交換が出来ても全員に話をしようとする、1人あたりがかなり短くなるので、あまり効果がないように思えました。
短時間の交流となり、慌ただしい。また、当社事業とは専攻が異なる大学もあり、ミスマッチがあってもある程度の時間を費やすことになってしまい非効率。

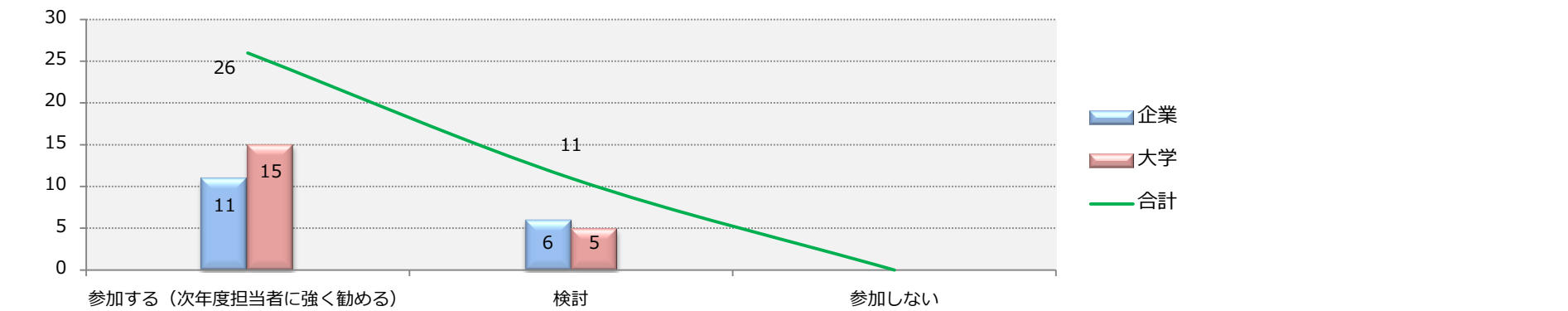
第17回 就職交流会 実績およびアンケート結果

時間を区切るのは効率よくブースを回る一つの案とは思いますが、もう少し時間を長くしたうえで従来どおり会場を分けても良いと思います。名刺交換をする時間が長ければ、会場が分かれたとしても1人（1社）で全てのブースを回ることが可能だと思うので。
メリット：すべての大学へのアピールができる。難関校へも公平にアプローチできる デメリット：時間が限られており、話が途中で切り上げることがほとんどであった。← 交流会の時間を大幅に増やした方が良い。
名刺交換会の場合は着席はせず、大学側あるいは企業側のどちらかが、順番に回りながら名刺の交換だけを行い、後半に大学側が気になる企業ブースへ訪問する形式がスムーズだと思いました。
基本的に全員の教授とお話しできて良かったが、グループによりやり方が違う等あり、かなり忙しかった為。
企業によっては、全校との情報交換は、不要かもしれない。

▼「異なる進进行を希望」と答えた方へお願いします。ご希望をお教えてください。（大学側）

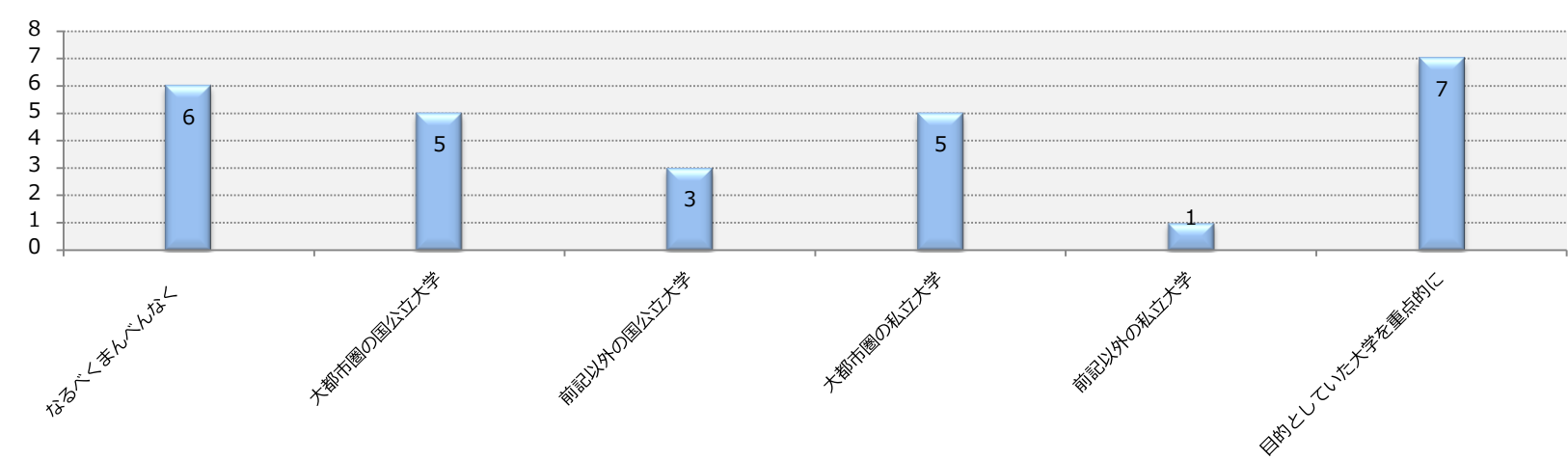
あまりにも忙しなかったと思います。1企業当たり2分程度でしょうか。資料をお持ちでなかった企業の方、名刺を切らしてしまった企業の方もおられました。もし、可能なら大学、企業双方がそれなりの資料を用意すべきだと思います。企業側は各大学卒の学生の採用実績。大学側は卒業予定人数やこれまでの進路状況（企業名、進学率）など。大阪市立大学ではこれらの資料をご用意し、各企業の担当者の方に渡すことができました。後日メールでご挨拶いただいた企業は1社のみでした。当方からは順次お礼のメールを差し上げております。
大学の教員側も企業側もどのように進めるのかわからず、戸惑っていたのでもう少し具体的に指示がいるように感じる。また、グループでの移動のため、他の先生方との面談時間に差が生じて、待ち時間ができるなどしていまい、その結果、全ての企業との面談ができないの問題が生じた。
やはり、時間が短く、名刺交換ができなかった企業も何社かありました。ブースを1社ごとにして、1社あたり3-5分で交代にすればよくなると思います。
時間を多く取れるようにする必要があります。
複数の企業対複数の大学、で10分間に区切られてしまうと、全く話のできない企業がありました。
グループごとに10分交代よりも、一社（または一校）あたり3分交代としたほうが効率がよい
前は参加していないのですが、今回のように大学側が移動するのではなく、企業側に移動して頂いた方が、ターゲット校として企業が興味ある大学がわかるので好ましいと思います。
大学側が回るのはいいだろうが、例えば一社1分半でグルグル回って、それが終わってから個別に話すスタイルかな。どうしても長っ尻になってしまう。参加者の多い側が回るのが効率的だし、取り敢えずは全員と(大学側は会社側全と；会社側は大学側全と)顔合わせ。この段階では、回る側分の椅子はない方がよいはず。参加者より少ない椅子の数には、かなり不快感を持ちました。企業側からすると、名刺交換の後の交流はあまり意味がないこと確かでしょう。有力校には、当然個別に出かけているわけだし。名刺交換が終わって、ノルマ果たしたらすぐ撤収というのが大企業の人事だろうと思う。中小の方には、ここは重要だろうと思う。そこで、このタイミングでミニパネルみたいなことをやって、聞き手側も参加するようなことを行い、それを短めにやって中締め～流れ解散かな。もちろんこういうことを考えるのが私の仕事だとは思いますが。
グループごとではなく、待ち時間等があっても個人、または会社ごとにローテーションを行ったほうが望ましいと感じた。また、進行方法については予め参加者すべてに伝えたほうが望ましいのではないのでしょうか。進行に戸惑う企業の方、名刺を切らしてしまったご担当者の方、また途中で退席しまった方は、恐らくは想定外の進行ではなかったのでしょうか。
複数大学の担当者（教員）が同時に、複数企業が待つテーブルを回っていく方式であった。複数対複数であったため、交流のできない何社かの企業があった。折角の機会が有効に使えなかったところに残念さを感じました。
大学側は企業のかたから資料で説明を聞きたいのですが、それに加えて大学側が学部案内を渡して企業に説明されると時間がかかり過ぎます。
もう少し、午後早く初めて（13時からなど）、企業担当者との面談に時間がほしい。すべての企業に均等に回れるように、細かな時間設定がほしい。一部の大学ですべての時間を使っていた。企業側にも大学が何校参加する旨を知らせておき、パンフレット、名刺が切れることがないようにしてほしい。
今までは企業の方が回る形であったと昨年までに参加した教員から伺っていた。大学側と企業側とどちらが動いても良いが、変更点などは事前に伝えて欲しい。企業交流会では企業側から資料を受ける立場なので、大学側が移動する方が良いと思います。10分という限られた時間では1テーブル3社が限界であり、4社となると単に資料の受理になっしまい、参加の意味が薄れてしまう。
企業と大学には、地域・規模等の要因によるある程度のマッチングが元々ある。全ての企業が全ての大学をターゲットとしているわけではないし、大学にとっても全ての企業に関心があるわけではない。したがって、マッチングの良くない企業と大学が上辺だけの社交辞令的な話をするのは限られた時間の中で無駄であった。一方で、お互いに話したいことが多くある同士が話をする時間は全く足りなかった。全部の企業と大学が強制的にコンタクトを取る今回の進行は、わざわざ参加する意義を考えさせられるものであった。

■ 次回の交流会に



第17回 就職交流会 実績およびアンケート結果

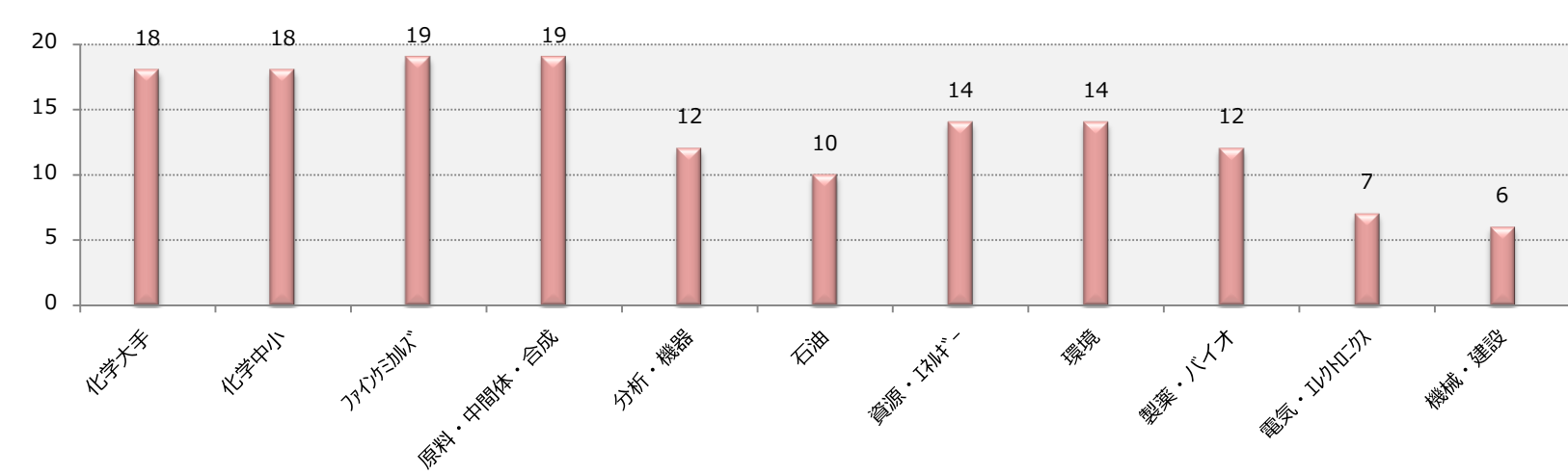
■ 本交流会で主にどのような大学と交流を深めたいですか。（企業側のみの設問項目）



■ 今回出席した大学以外に出席を希望される大学があればご記入下さい。（企業側のみの設問項目）

東京工業大学（5）・京都大学（3）・大阪大学（2）・東京理科大学・北海道大学・名古屋大学・静岡大学・静岡県立大学・地方の国公立大学・西日本の大学

■ 本交流会で主にどのような業種の企業と交流を深めたいですか。（大学側のみの設問項目）



■ その他、本交流会に対するご意見ご要望がございましたらご記入下さい。

企業側

とはいえ、全体的に大満足の交流会でした。今後ともよろしく願いいたします。お茶受けにおしゃれお菓子が用意されており、おいしく戴きました。
交流会はあまりにもあわただしかった。教授側も聴くのが大変であったと思うが、企業側は、同じ内容を繰り返し何十回続けてと話すのは大変であった。少なくとも2から5校を相手に説明する形式に変更したほうが良い。説明内容についても短時間の説明であるので、会社概要中心か、人材教育中心か、募集内容中心か、OB・OG動向中心か、大学側の意見を聞くことが主体かどのような内容で企業と大学が意見交換をするのかある程度統一しておいたほうが充実すると考える。
西日本でも開催していただけると大いに助かります
内容が変わることが認識不足であったのでアナウンスに配慮して頂ければ幸い
毎年、ありがとうございます。就職担当の先生との窓口構築のために、大事なイベントですので来年度もぜひ参加させて頂ければと思います。今後ともよろしくお願いいたします

大学側

少なくとも参加する大学が分かっているので、企業様にはこれまでの採用実績などの資料をご用意いただけたら実りのある会になると思います。
来年から解禁日が3月になるため、3月に行ってほしい。解禁月と同月の早い日
関西からの参加の企業が少なくその点が少し不満であった。やはり、関西圏では学生も関西圏での希望が多いためもう少し関西圏の企業の参加を呼び掛けてもらいたいと思う。あるいは、関西圏で別に実施するなど。日本化学会として積極的にこのような行事を行うのであれば、少なくとも幹事企業などには参加するように依頼するべきであると考え。
企業説明が解禁になる前にこのような会があればいいと思います。
有意義な交流会だったと感じていますが、繰り返すようですがあわただしかったです。名刺交換会を通じた求人・求職の話をする場として重要と考えます。中小企業の参加を促して欲しいと思います。
JABEEの話はなくても良かったので、森ゼミの時間を長くして欲しかった。
ご尽力に感謝いたします。
求人票と名刺交換を目的とする催しであるとするなら、大学あてに求人票を送っていただいていない企業（ということは非化学系または中小）との接点を求める。
今回はあまり上手くいってないようだったと思います。
前述のように、全体的にコンセプトが不明と思いました。単に会社の案内をしていただく、また名刺交換をするというのであれば、個人的に接触すれば十分可能ですので、短時間で名刺交換を行うという以外はメリットはなく感じました。日本化学会所属教員の指導学生等に対して積極的に関連企業での活躍を望むのであれば、この回で名刺交換をした場合には、1次試験は必ずパス等の条件をつけても良いのではないのでしょうか。

第17回 就職交流会 実績およびアンケート結果

懇親会への移行をスムーズにしてくださいかった。
面談形式ですが、企業側と大学側の人数がほぼ同数でしたので、企業の方には今回同様お座りいただいて、大学側は空いているところで話が聞けるようにした方が良いのではないのでしょうか。
予算面もあるかもしれませんが、会場では手狭と感じました。都心部から離れると遠方から参加している大学、企業の方が参加するのに交通上不都合かもしれませんが、特に綺麗な場所をというよりもある程度の広さを求めて、参加企業がもう少し多くなって頂けると、より意味にある交流会になります。ただ、旧帝大などの国立大や一部の私立大学では物足りなさを感じてしまうかもしれませんが、新規開拓という意味合いも考えていただけると大学側としてより意味のある企画となると思います。
名刺交換会で、もう少し時間に余裕をもっていただきたい。話がほとんどできない会社もあった
企業の種類を分けて、何回か実施するのが望ましい。
参加している企業が、年々少なくなっているように感じる。企業の方々にとって実のある内容を検討した方が良い時期に来ているのではなかろうか。